Kamagaya International Friendship Association

第30号
1997年７月10日発行
〈発　行〉
鎌ケ谷市国際交流協会
編集・広報部会

ＫＩＦＡ10周年＆姉妹都市提携

KIFA delegation having a relaxing time with children in Whakatane.
ワカタネの子供達とくつろぐ1996年度 KIFA 派遣団

Mayor Bonne of Whakatane & KIFA President Arai in Japan in Sept 1996.

昨年９月来日した
ワカタネ市長と
KIFA 荒井会長

調印式、祝賀パーティー

ニュージーランドのワカタネと鎌ケ谷市の姉妹都市提携調印式が、11月16日（日）市民体育館に於いて行われます。
アンソニー・ボーン市長ご夫妻、一般市民の一行20名と、マオリの高校生、先生方など20名が調印式に先立ち来日予定です。
この記念すべきイベントにあなたも是非ご参加下さい。（詳細は７ページ）

COME CELEBRATE KIFA'S 10th ANNIVERSARY AND THE SISTER CITY SIGNING BETWEEN KAMAGAYA AND WHAKATANE, NEW ZEWALAND

On November 16th, Sunday, there will be a party to celebrate KIFA's 10 year anniversary and the official sister city signing between Whakatane, New Zealand and Kamagaya. The party and signing will take place at the Kamagaya City Sports Center (Shimin Taiikukan), from 12 noon. About 40 people from Whakatane will be present, including Whakatane citizens, Maori students, teachers and Whakatane Mayor Bonne and his wife.
Please come and help us celebrate.

1997年度鎌ケ谷市国際交流協会総会開催

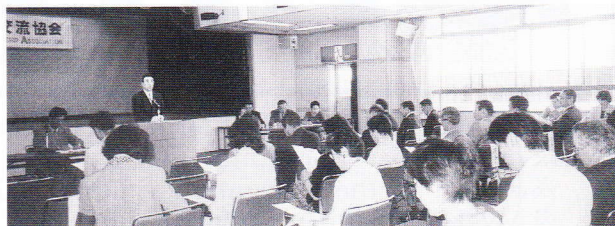
5月18日（日）午後1時より、総合福祉保健センター6階大会議室において、本年度の総会が開催されました。

各部会の8年度の事業報告、並びに収支決算と9年度の事業計画案、予算案が審議され、いずれも承認されました。

本年度は、ＫＩＦＡ設立10周年の年。それに伴う記念事業、11月のワカタネとの姉妹都市、本調印等、新たな活動の年となります。列席の方々のお話の中でも姉妹都市提携への経緯、真の国際交流の在り方、又草の根、手作りの国際（理解）交流による一般への広がりの為のきめ細かな活動等、未来へのステップの年としてこれからもしっかりとした活動の積み重ねが大切であるということが話題となりました。

又、役員の一部改選があり、今年度の会長職以下役員が紹介されました。

今年度の主な事業計画は、下記の通りです。

1．ＫＩＦＡ設立10周年記念事業実施
2．市民夏まつり事業参加
3．ワカタネとの姉妹都市交流事業
4．会報の発行
　・年2回発行（A4　8ページ　4,000部）
　・記念号1回発行（5,000部）
5．在住外国人との交換
　・鎌倉バスツアー
　・バーベキューパーティー
　・料理講習会

6．ホームステイ・ホームビジットの受入（随時）
　・歓迎パーティー
　・登録家庭募集と説明会
7．講演会・イベントの開催
8．語学研修講座の開催
　・英語会話講座　3講座
　・中国語会話講座　1講座
　・スペイン語講座　1講座
　・10周年記念事業（シルバークラス）　1講座
　・開講式
　・閉講式
　・講師交流会
9．日本語ボランティア活動
　・日本語講座　1講座
　・日本語ボランティア講師養成講座　1講座
　・日本語研修会
10．通訳ボランティア活動の促進
　・研修会の開催（3回）
　・要望により通訳・翻訳をする
11．その他

語学研修講座開講式

今年度も、同会議室にて、総会終了後、当協会主催の語学研修講座合同開講式が開催されました。

引き続き、フラメンコ・ギター演奏とフラメンコ舞踊の演奏会も行われました。巧みなフラメンコ・ギター演奏とスペイン独特の踊りの雰囲気に、会場は一時魅了されました。

坂田先生、アコスタ先生、小川先生、興津先生、王先生

本年度も下記のような講座が行われています。

英語初級	（火）夜	坂田佳枝講師
英語初級	（水）午前	興津圭子講師
英語中級	（金）午前	ヴィール・小川講師
中国語	（土）夜	王　麗潔(ウァン リイジェ)講師
スペイン語	（木）夜	アコスタゆかり講師

国連ボランティアとしてカンボジアで命を終えた息子…

「厚仁の残したものを高くかってあげたい」

中田武仁氏講演会　＝今　何故ボランティアか＝

講　演　者　紹　介

1993年、20年ぶりに民主選挙が行われることになっていたカンボジアで、国連ボランティアの中田厚仁氏が射殺されたというニュースは私達に大きな衝撃を与えた。中田武仁氏は、その厚仁氏の父君である。氏は、その後32年間の商社マン生活に終止符を打ち、自らも国際平和のためのボランティアとして活動を開始。国連より、世界初、唯一人の「国連ボランティア名誉大使」に任命されている。

故　厚仁氏

中田武仁氏

2月23日（日）午後１時30分より、総合福祉保健センターにおいて、ＫＩＦＡ主催による中田武仁氏の講演会が行われた。紹介が終わり中田氏が語り始めると会場は静まり返り、よく通るなめらかな声だけが響く。綿密に準備されたに違いない内容の濃いお話。時々掲げられる大きめの写真。少し早口に、淡々と語る氏の１時間半の講演は、普通の３時間の講演にも匹敵するものだった。いや、何時間かけても、このような素晴らしい講演のできる人はいないのでは…と思わせるものだった。中田氏のお話は毅然としていてさわやかであったにも関わらず、会場には多くの人々の目頭を押さえる姿がみられた。

最後に氏の大好きだという、美空ひばりさんの「１本のえんぴつ」を全員で聞きながら会を終えた。

♬あなたに聞いてもらいたい
　１本のえんぴつがあったら…
　私はあなたへの愛を書く
　１本のえんぴつがあったら…
　戦争はいらないと私は書く

後日、この講演に感銘を受けた有志が集まり、著書を囲みながらの話し合いが持たれました。

講演内容の概略

厚仁を変えたアウシュヴィッツ見学と先生の言葉

1976年にポーランドに赴任する。東側に属していたので物が無く行列して食料を買うという状況だったが、人々の心は豊かであった。厚仁が４年生の時、多くのユダヤ人が虐殺されたアウシュヴィッツを見せた。彼は、「どうしたら戦争がなくなるの？」と何度も父に聞いていた。６年生の時の作文に、「国連で働きたい」と書いている。

中学１年生の時帰国。彼にとっては辛い帰国子女時代が始まった。大学生になった厚仁に留学をすすめる。ロータリー財団の奨学金でアメリカとフランスへ留学する。アイオア州の大学で先生に言われた言葉「君は必要とされている人」が、カンボジア行きに大きな影響を与えた。

ボランティアの中の３つの心

1992年、ボランティアとしてアンタックに参加したいと言われたが、父としてはＮＹのあのビルの中で仕事をする人のことと考えていた。ボランティアという言葉が日本にはなかった。ということは、考え方がなかったのである。ボランティアには３つの心があると思う。

①自 主 性―みんながすれば正しくないことでもするのか？
②非報酬性―損得だけで物事を見るのは恐ろしい。
③福祉の心―厚仁は小６の時、「ポーランドの福祉」という作文に、「ポーランド人は自分より弱い者に対してとてもやさしい人々」と記している。

すっぱいぶどうの話をご存知だろうか。ぶどうを取ろうとしても手が届かなかったきつねが、「あれはどうせすっぱいぶどうさ」と言い捨てて去ってゆくお話。このきつねのような人がいるのも確か。こんなことも、ボランティアをしていることを知られたくないという人も多い理由である。しかしそんな人には負けないでほしい。

ポーランドでは、教育とはgood citizenを作ることと言われる。good citizenとは他の人を尊敬する人々のことである。ボランティアに対する社会的評価が日本と他の国とでは違う。みんながボランティアをすることができるとは思わないが、やってくれる人に対しては、「自分の代わりにやってきて下さい」というやさしい気持ちで送り出してほしい。５年間の努力で少しづつ日本が変わってきていることは嬉しく思う。

「世の中には誰かがやらなければならないことがある」と言って厚仁はカンボジアへ旅立った

1992年７月７日に旅立って行った厚仁は、1993年３月８日、25才３ケ月の命を終えた。彼の残していったものを高くかってあげたいと思う。人の命は尊い。しかし自分の命だけが尊いと思っている人も多いのではないか。命には限りがある。だから大切にしたい。「世の中には誰かがやらなければならないことがある」と言ってカンボジアへ行った厚仁。あの子のしたかったことを今、私がしているのである。

『2001年を国際ボランティア年にしよう！』

1996年度 派遣

Report of the delegatio

派遣団リーダー　　　　ＫＩＦＡ会長　荒井　茂行

ワカタネ派遣事業の集大成の意味を持つ今回は、協会理事の推薦を受けた各団体を代表する方々と、協会役員の計13名で、２月９日から１週間の期間で本事業が実施されました。現地では皆川市長、月野市議会議長と行動を共にし、各公共施設、梨栽培農家の視察等を行いました。就中、小学校を訪問した際、「きらり鎌ケ谷」の合唱での歓迎に一同心を熱くしました。また今回は、マオリ民族の正式な歓迎式（入村式）に臨み、その神聖さに歴史の重みを感じました。一連の視察の他、ワカタネ市民との交流の場においても、派遣者それぞれが、終始真剣で前向きの姿勢で取り組んでくださったことで大きな成果を得ることができました。姉妹都市提携は11月鎌ケ谷市で調印されることとなりました。

鈴木氏　山根氏　飯田氏

10時間以上の飛行機の旅に現地に着いた時は、地球儀でみたあの遠いＮＺに自分の存在を感じつつそれは夢の様でした。オークランドの街を観光したのですが、緑が多く小高い丘に登れば青い海。そのコントラストがとても美しく心が和む想いでした。　　　　　（山根　庄作）

道路には、ゴミ、空きビン、タバコの吸い殻等１つも落ちていないすばらしい町。住宅地の街路樹は、キョウチクトウ、タイサンボク、ネムの木の花が満開で、鎌ケ谷の８月頃の気候。大木は、ヒマラヤスギ、メタセコイヤ、ポプラ等。　　　　　（飯田　泰巳）

下谷氏　荒井会長

Maraeでの体験　今回
統的な式典である「入村式
人として参加しました。
神聖な場所で貴重な体験
本　靖子）

住宅は、木造平屋建てが
してある。家屋を長持ちさ
と言う）。外観からは新旧
装するとか。生活様式の違
洗濯物が全く出ていない。

鎌ケ谷、ワカタネ両市民の交流を深める方法として、両方の諸団体同志の交流を手掛かりにしたいと、今回ライオンズクラブの会長２名と話をする機会を得ましたが不十分だったので、調印式には来日される様要望したところ、検討してくれるそうです。　　　　　（竹内　明）

ワカタネでは多くの小さなコミュニティが集まって大自然の中で暮らし、ニュージーランド人の持つ大らかな人柄と若干アバウトな人が多い。２月12日には伝統的な歓迎パーティーを受け、派遣者全員が感動のうちに心の溶けあう一時を過ごすことが出来た。（佐々木武二郎）

人々は誰にでもあいさつしてくれ、スズメ迄がすぐ傍に近寄って来て人懐っこい。並木風に植えられた梨園は、摘果など無くブドウの様な実も。土ホタルの見学では、その無数の光は、満天の星座を見上げる情景であった。船頭がロープを手繰って誘導するボート、音も無く、観客も声をひそめ暗闇を通り抜ける、不思議な世界に遭遇したかの想い。　　　　　（鈴木　秀承）

鎌倉バス旅行

Kamakura Bus
'97. 5. 25

降り続いた雨もようやく上がった５月25日（日）朝７時30分、一行（外国人21名、日本人28名）を乗せたバスは鎌倉をめざして出発した。自己紹介やゲームを楽しみながら、窓の外の風景をながめ、都内の新名所レインボーブリッジを通り、横浜のベイブリッジまで、ノンストップで着いた。ガイドさん曰く、「こういうことは珍しい」とのこと。

予定より早めに鎌倉市内に入り、〝除夜の鐘〟で有名な建長寺と続いて鶴岡八幡宮を訪れた。人出は思った程多くなくガイドさんの説明に耳を傾けたり、写真を撮り合ったり、和やかな散策を楽しんだ。大仏のある高徳院を後にし、江ノ島に向かったが、この頃になると市内も渋滞気味でバスものろのろ運転でようやく、江ノ島海岸に着いてカラフルな水着の若い男女や家族連れで賑わう浜辺で昼食をとった。帰りのバスの中では交流部会の方が用意したビンゴゲームや単語あてゲーム、ジャンケンゲーム等で言葉の壁や行楽疲れも吹き飛ばすような笑い声と歓声で盛り上がった。帰りも順調で予定時刻６時過ぎに市役所前に到着した。

者帰国報告

n visiting New Zealand

のワカタネ訪問で、マオリの伝」に、マオリ老女の従者の一示通りに動くだけでしたが、させていただきました。（岡

大部分。全部白ペンキで塗装せる為か、（ガイドは美観の為の区別がつかない。家の人が塗いか、行政指導があるのか、
（下谷　喜作）

岡本副会長　石井氏

移動の途中アラワ族の部落を築いた記念樹と言われるマタイの木があり、根もとに葉を置くと旅の災難から免れるとの事。私たちも早速実行、旅の安全を念じました。３日間のワカタネ滞在は異国の雰囲気を味わいながら文化や歴史にふれ、大変意義深い旅でした。（石井　一美）

長谷川氏

ワカタネの小学校では３～４年生の子供達が一斉にキラリ鎌ケ谷を歌いだした。この光景に驚き感激した。有難うという言葉がつい飛び出してしまう。帰りは道まで送ってくれてバスが見えなくなる迄手をふっていた。この地をまた訪問したい気持ちである。（長谷川　豊典）

竹内副会長、佐々木氏、伊藤氏

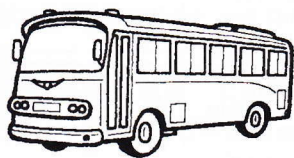
マオリ族が、最初に上陸したという浜を見学。海の中にマオリの娘ワイラカの像があり、その娘さんが沖の方へ波にさらわれそうになったカヌーを近くにいた女性達に号令をかけて、それを防いだ話。その当時カヌーは男だけが使う物だったとか。（野口　光行）

野口氏

昨年ワカタネ市長をお迎えした時からワカタネを想い、今回ライオンズクラブの代表として旅することが出来ました。ワカタネは私が想像していた以上に風光明媚な所で、町の前に海そして川、後にはワカタネが一望出来る丘陵があり「素晴らしい」の一語です。（伊藤　秀継）

大野氏

小学校、中学校では両校長が案内。授業内容は日本の方針と異なっている。幾つかの実習課題に分けられ、生徒は得意とすることを更に発展させようという目的で取り組んでいる。小学生に至るまで姉妹都市鎌ケ谷に対する関心の深いのに大いに感激した。（大野　幸一）

Tour
交流部会担当

天候(てんこう)にも恵(めぐ)まれたこの日(ひ)、ニュージーランド、バングラデッシュ、韓国(かんこく)、中国等(ちゅうごくとう)など参加(さんか)した国籍(こくせき)は様々(さまざま)だったが日本(にほん)の歴史(れきし)の一端(いったん)を紹介(しょうかい)しながらお互(たが)いの交流(こうりゅう)を深(ふか)めようと企画(きかく)された初(はじ)めてのバス旅行(りょこう)は大(おお)いにその成果(せいか)を上(あ)げたようだ。（広報部員　M・G）

奇麗な街並　シンガポール

皆川　リリー

私の名前はリリーです。私の故郷は奇麗な街並と美しい蘭の花で有名なシンガポールです。シンガポールは小さな島国でマレーシア半島の南側に位置しています。その広さは647.5sq.km、人口は約310万人です。多民族国家で、もっと多い人種は中国人、その次はマレー人、３番目にインド人と欧亜混血（ユーラシア人）です。私達の話す公用語には、英語、中国語（マンダリン）、マレー語とタミール語（インド語）の４種類の言葉が使われています。その各言葉にも方言が有ります。私達の国にはマレーシアのようには資源が有りませんので、他の国より食物や品物を輸入しています。シンガポールの主産業は金融と貿易です。我々のキャンギ空港は全てにおいて世界一の評価を受けていますのでビジネスマンの間では航空機利用に人気が有ります。

私達の国は多民族のため、年間に四つの新年（正月）が有ります。その中で中国のお正月は一番です。そして、マレーの新年ハリラヤとインドの新年デババリがお祝いされます。でも、一月元旦の新年はシンガポールにおいてはそんなにお祝いはしません。多くの人達の週末の過ごし方はショッピングにオーチャード街、中華街、リトルインデア、マレービレッジへ行きます。ある人達は映画鑑賞やイーストコートビーチまたは自動車にてマレーシアへ買い物に行きます。シンガポールドルがマレードルよりたかいからです。シンガポールの用地が少ないため、人口の約86％の人達は高層アパートに住んでいます。その他の人達は一戸建ての家に住んでいます。自家用車を持つことは贅沢です。一般人の足は電車、バス、タクシーを利用します。自動車の購入金額はシンガポール人の住宅購入金額の約５倍になるからです。

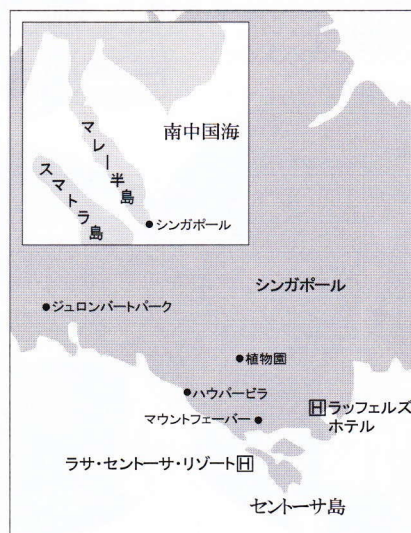
My Hometown
わたしの
ふるさと
Singapore

シンガポールは住むのに安全なところです。シンガポール政府は大変に厳格は政府でゴミを捨てる、公衆トイレでの水を流さない、横断歩道を渡らないで道路を横切った等の違法者は罰金を科せる。シンガポールでの見どころはラッフェルズホテル、セントウサ島、中華街、オーチャウド通り、セントンウエイ、動物園、ジェロング鳥園です。1996年において日本人の旅行者が一番多かったそうです。また、多くの日本人が住んでおり、シンガポールの日本人学校は世界一です。近いうちに読者の皆様がシンガポールへ来られますように願っております。（訳ご主人皆川利男氏）

ラッフェルズホテル

My name is Lily. I come from Singapore. Singapore is very well known for its cleanliness and beautiful orchid flowers(ラン). It is a small island measure 647.5sq. km and have a population of 3.1 million. It is situated on the south of Malaysia. There are different races of people. Most of them are Chinese followed by Malays, Indians and Eurasians. We have four main languages which are English, Mandarin, Malay and Tamil. Besides there are different dialects. We have no natural resources like Malaysia. All our food and many other things are imported. Our main business are financial and trading. Our airport at Changi is the world's best. So is the airlines, very popular among businessmen.

We have 4 New Year for the 4 groups of people. Chinese New Year is the major event. Most of us do not celebrate New Year on 1st January. The Malays celebrate Hari Raya and the Indians Deepavali. During the weekends most people go for shopping in Orchard, Chinatown, Little India and Malay Village. Some go for movies in the cinema while others gather at East Coast beach or drive to Malaysia for shopping and a value meal because of the strong Singapore dollars. About 86% of the population live in high rise apartments. Very few people live in private houses because of the shortage of land. Owning a car is a luxury for the people. Most of us use the public transport like trains, buses and taxis. The price of a car is 5 times as much as an apartment.

Singapore is a safe country to live in. The government is very strict. Fines are imposed for littering, failing to flush the public toilets and cross the road without obeying the traffic rules. While visiting do not miss these places:- Raffles Hotel, Sentosa, Chinatown, Orchard Road, Shenton Way, Zoo and the Jurong Bird Park. Japanese froms the largest visitorship to Singapore in 1996. There are also many Japanese living in Singapore. The Japanese School in Singapore is the world largest. I hope you readers would visit Singapore in the near future.

「英語とつきあった25年の歳月」

西道野辺在住　坂井　　晃

私と英語とのつきあいはかれこれ25年になろうとしている。初めはWritingから取り組んだ。レター、テレックス、それに機械の取扱説明書や仕様書などの翻訳である。通信教育で勉強したが、最初の３～４年はとても苦しく、翻訳の試験も実につらい気持ちで受けたことを覚えている。しかし、５～６年が過ぎる頃からだんだんと楽しくなっていった。そして10年くらい経った頃、ようやく自分のものになったかなという感じがした。

これとほぼ並行してReadingもやっていったが、これは仕事上で、特許に関する外国との係争の関係書類を翻訳していったことで、自信がついた。しかしこれも10年くらいかかった。10年１区切りという持論ができた。

Listeningも通信教育で勉強し、今は８年目を迎えようとしている。これもWritingとまったく同じ経験をして、最初の内は辛くて仕方がなかった。試験も一喜一憂。楽しく実りが感じられるようになったのは、Listeningを始めてから５～６年が経った頃からだったと思う。

Speakingは比較的順調な滑り出しをしたように思ったが奥が深く、英会話スクールでこれも今８年目になろうとしているのに、目下音声学を徹底的にしごかれている。

今までに受けた試験は、英検、TOEIC、TOEFL、科学技術翻訳士、翻訳技能審査、ほんやく検定、翻訳実務士、通訳ガイドなどいろいろあるが、所期の目的を達成したものや、まだ継続中のものもある。

英語は主に会社で使うために勉強してきたが、海外旅行で現地の人や旅行者と話すのも楽しみの一つである。

将来は、翻訳の仕事やボランティアの通訳の仕事ができればと思っている。

投稿規定：25文字×30行以内。題名、住所、年令（学年）を明記の上、
鎌ケ谷市国際交流協会事務局（市役所３階企画課）まで。
記載されたものには、謝礼をお送り致します。

お知らせ

鎌ケ谷市国際交流協会設立10周年記念事業
鎌ケ谷市・ワカタネ姉妹都市提携調印式

11月16日（日）　12：00開場、12：30開演
場　所：鎌ケ谷市民体育館
参加費：￥1,000
内　容：展示コーナー　†ＫＩＦＡ紹介　†ワカタネ紹介
†諸外国紹介
†日本の伝統文化体験コーナー
†小・中・高校生絵画交流展
（ワカタネ・鎌ケ谷各100点）
舞台（イベント）
立食パーティー形式の交流

マオリの踊りを披露する高校生

詳細は後日出ますポスター、ちらしをご覧ください。

LET'S CELEBRATE KIFA'S 10th ANNIVERSARY&FRIENDSHIP WITH SISTER CITY

We are happy to announce the Sister City Signing Ceremony between Whakatane & Kamagaya. The ceremony will be held as follows:

Date : NOV 16th (Sun)
Time :(opens) 12:00pm, (ceremony starts) 12:30pm.
Place: Kamagaya City Sports Center (Shimin Taiikukan)
Admission : ¥1,000 / per person

Join us at the KIFA booth during THE CITY SUMMER FESTIVAL !

"The Summer Festival of Kamagaya city" will be held on August 23rd, Saturday at the KAIGARAYAMA PARK. In case of rain, it will be held the next day, August 24th. KIFA heartily invites all members of the foreign community to join us. Some entertainment and simple snacks will be provided in the booth. This is an excellent chance to meet and socialize with new people. Please come and bring your friends.

市民夏まつりが、８月23日（土）貝柄山公園で行われます。ＫＩＦＡでは例年通り「市民夏まつり」に、ブースを出すことになりました。ブースでは鎌ケ谷市に住む外国人の方々と懇親を計ることを目的とした、ささやかな交流の場を用意いたします。又、ニュージーランドの国鳥〝飛べない鳥、キーウィ〟が絶滅の危機にあることから、〝キーウィ〟を皆さんに知っていただくための展示コーナーもございます。奮って多くの方の交流、参加をお待ちしています。お気軽にお立寄りください。

行事計画

７／13（日）1p.m.～3p.m.　ホストファミリー募集説明会
：まなびぃプラザにて（交流部会）

８／23（土）市民夏まつり参加：貝柄山公園にて

９／20（土）2p.m.～4p.m.　ＮＺ、ワカタネ理解講座
：中央公民館にて（派遣部会）

姉妹都市提携するワカタネを広く市民の方々に知って頂くため、ワカタネの紹介をします。当日はニュージーランド大使をお招きしての懇談会も予定しています。

９／28（日）予定　バーベキューパーティー：市民の森にて（交流部会）

２／未定　料理講習会　（交流部会）

今年度の行事計画です。ふるってご参加下さい！

EVENTS OF THIS YEAR

8/23(Sat) Summer Festival in Kaigarayama Park
9/28(Sun) Barbecue Party in Citizen's Forest
2/(The date is not decided) Cooking Lecture class
※ We need some non-Japanese helpers.
※ If you have any questions, please do not hesitate to call Mrs. Sumiko Ishizeki through the KIFA Office. Tel:0474-45-1141 Ext.550

ワカタネ市民のホストファミリーを募集！

11月16日（日）の姉妹都市提携調印式に向けてニュージーランド、ワカタネより約40名の調印代表団が鎌ケ谷市を訪れます。中には、マオリの踊りを披露してくれる男女16名の高校生も含まれています。この機会にホストファミリーとしてワカタネ市民との友好を深めてみてはいかがですか。詳細は、７月13日（日）13時からまなびぃプラザで行われる「ホストファミリー募集説明会」へお越しください。（交流部会担当）

「ニーハオ大朋友（フレンドリー）中国語教室」（研修部担当）

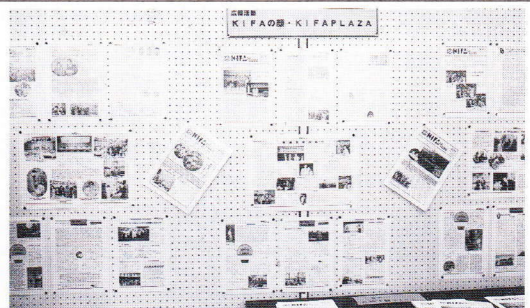
ＫＩＦＡ10周年記念事業、老人クラブ連合会共催
対　象：60才以上の男女　定員30名
日　程：８／26～11／４の毎週火曜日全10回
（９／23を除く）午後２：00～３：30
場　所：総合福祉保健センター　５階団体活動室
受講料：￥4,000ーテキスト代無料
申し込み：８／12迄に事務局まで

日本語ボランティア研修会

日時：８月２日（土）2p.m.～
場所：中央公民館第３学習室
内容：日本語の音声学（アクセント・発声法）
講師：広瀬万里子先生
定員：30名

まなびぃフェスティバル参加
ＫＩＦＡの活動とワカタネを紹介

３月９日（日）、まなびぃプラザに於いて恒例の〝まなびぃフェスティバル〟が行われました。ＫＩＦＡも参加し、各部会の活動内容を市民に紹介しました。

又、11月に姉妹都市提携予定のニュージーランド、ワカタネの歴史や文化を写真やビデオで紹介しました。

編　集　後　記

原稿を何度も書き直し、机の上に消しゴムのクズを散らかしながら、やっと記事が完成しました。文章を書くのが不得手な私が広報部会に入ってお手伝いをすることになり、多少とまどいもあります。ですが、新米の私を温かく見守って下さる先輩たちにアドバイスを頂きながら楽しみつつ、やっていけたらと思っています。（M. G）